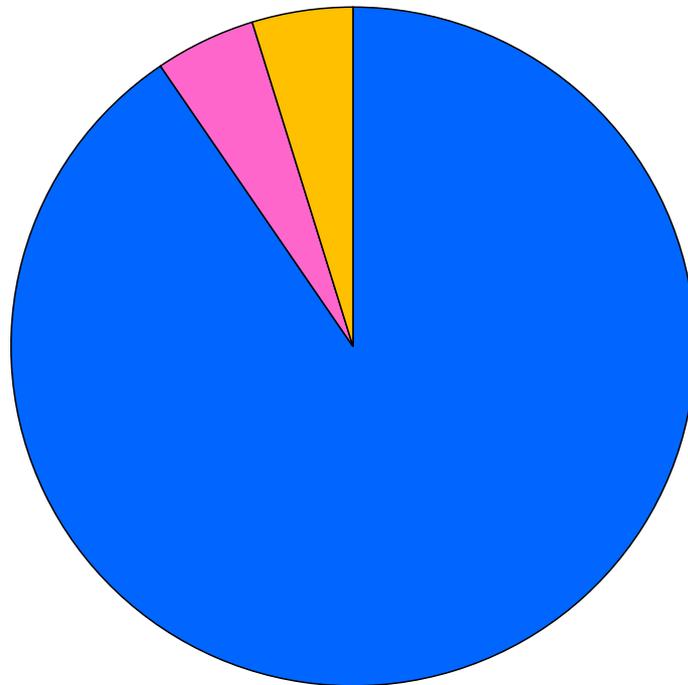


【参加対象者限定】第1回教育のデジタル化研究会 属性回答集計

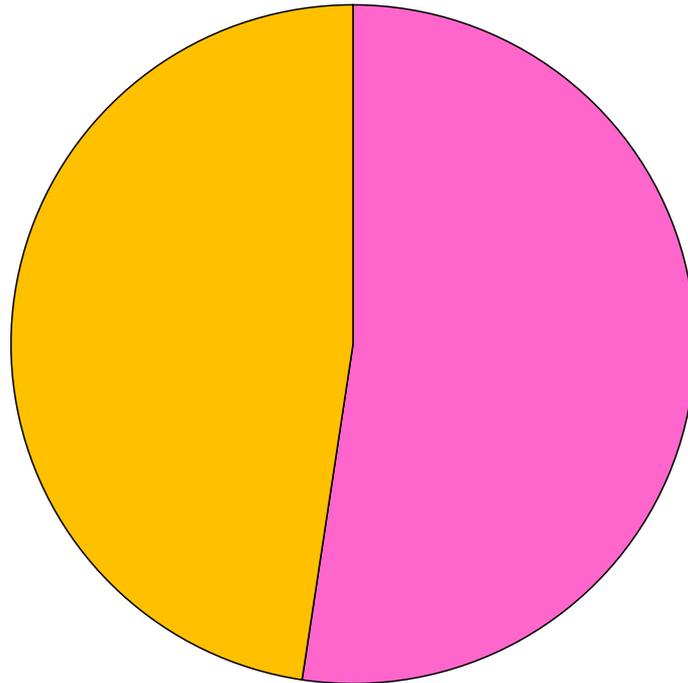
【属性】性別

No	回答	人数	%
1	男性	19	90
2	女性	1	5
3	性別無回答	1	5
合計		21	



【属性】年代

No	回答	人数	%
1	アソシエイト（～34歳）	0	0
2	リーダー（35～59歳）	11	52
3	シニア（60歳～）	10	48
合計		21	



質問1 DPP「事前準備」の機能や操作について、ご意見をお聞かせ下さい。

【自由記述】

- ・準備の仕方は簡単ですが、工数が多いので、毎週行う授業のような場合は、一回作成した事前準備を、簡単にコピーすることを期待したい。
- ・質問5に記載
- ・ ・ パワポにQRコードを貼り付ける意味がよくわからない ・ 講師画面で 質問回答を考えたら それがパワポに自動で反映されるようにならないのか
- ・ 昨晩うまくゆかなかった動作を再度検証しています。
- ・ ・ QRコードを学習者に提示する際に資料にコピーするのではなく、QRコード表示画面などでDPPから提示できると便利 ・ 属性の効果的な活用についてみなさんの意見を聞きたい（活用方法、アンケート、設問等との違い） ・ 学習者へのweb会員登録の有無確認等の部分については（トリセツ6P）何かやりやすい方法を検討できればと思う。
- ・ 準備の大切さは何でも一緒だと思いますが、なれないといけない。
- ・ 講師側と学習者側の両方を同時に作業したので未だに混乱しています。講師側が途中で学習者の様子を把握する、という状況設定では、一人二役となり、事前準備はほぼ同時に行うことになってしまい、講師側の操作に専念できない嫌いがありました。勉強会前半と後半で役割を入れ替えるとか、学習者役のスタッフを配置して、講師役に専念できるようにした方が操作のトレーニングになると思います。機能や操作の評価ではありませんが、操作（能力）の向上に資するように思います。
- ・ マニュアルにある文言、操作の流れに慣れるまで時間かかると思った。
- ・ 登録がところどころにあるのが気になるので、ボタンの名前に工夫が欲しい。ブラウザで戻ると不具合がある事が気になるが、セッションを持ってどうしようもないと聞いているので他は特になし。
- ・ 説明をお聴きし、操作してみると、使いやすく、機能的にも十分だと思います。あとは、実際に使ってみて、加えてほしい機能が出てくるかどうかですね。とにかく、大学の授業に使いたいと思います。そのためには、授業スライドを全面的に見直さなくては。。。
- ・ 取り扱い説明書が28ページにもわたる段階でちょっと引いてしまった 初めてなので準備段階から手間取ってしまう。ここの高い高いハードルを越えて使いこなす用になれば、良い機能なのだが
どうにかしてこのハードルを越えてもらわないことには使ってもらえないと思う。
- ・ Pdfしか登録できないと言うのが、どこにも記載がなく分かりませんでした。

【自由記述】

・機能や操作は慣ればすぐできると思う。それよりは、永岡先生のお話にあった、質問内容の推敲とプレゼン内容の整理が大変難しいと思われます。

・質問5に記載

・同上

・質問について、回答したものをグレーにできるが、講義内で時間が限られている時に、事前に取り扱う質問をチェックするときに、グレーにするとき、受講者に見えてしまい、自分の質問がグレーになっているとわかってしまうとあまり気分もよろしくない。質問の取り扱いについてどのような運用があるのかについてみなさんのご意見をききたい。

・今まで、PPTとRAの切り替えが大変だったので良い機能と思います。PDFしか表示できないのが残念です。 たまに、PDFがアップできないので困ります。

・十分使えませんでした。

・マニュアルにある文言、操作の流れに慣れるまで時間かかると思った。

・アップロードしたpdfが全ページ読み込まない事が自分のpcではあったのが謎だったが、他は特になし。

・説明をお聴きし、操作してみると、使いやすく、機能的にも十分だと思います。あとは、実際に使ってみて、加えてほしい機能が出てくるかどうかですね。とにかく、大学の授業に使いたいと思います。そのためには、授業スライドを全面的に見直さなくては。。。

・このDPPが活躍するのはリアル研修なら40人(1クラス)以上でそれ以下ならDPPは不要直接の対話のほうがよい 遠隔とのやり取りにはとても良い 参加者のは反応に対して内容を変えていけるし、参加者も聞いてるだけでなく何らかのアクションを起こす(参加型)になるのでよいと思う ただ、講師は引出し(話題やネタ)をたくさん持っていないとこの機能は使えないので、優秀な講師をより支援し、ダメな講師には役に立たない 単なる面倒な機能にしかならない

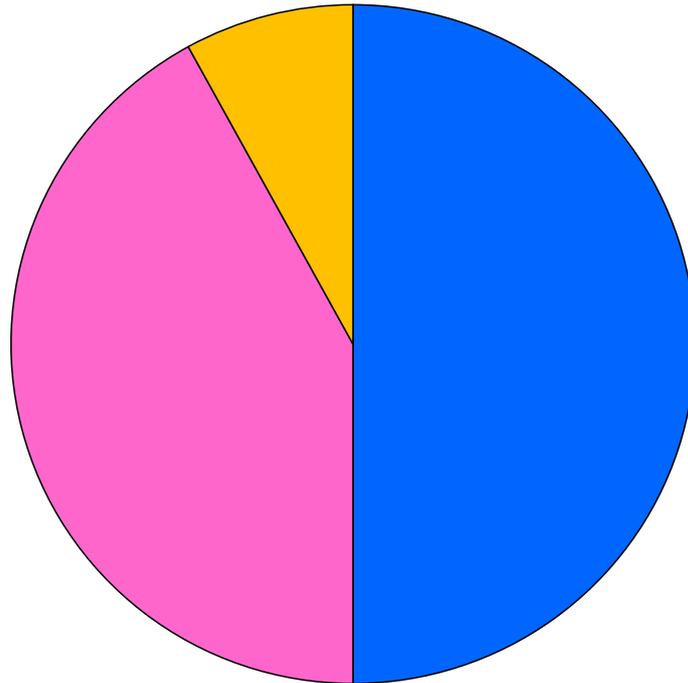
・操作性はいいと思います。 pdfだと、パワーポイントのアニメーションが使えないので、使えるとなおいいと思います

【自由記述】

- ・ データ集計は大変便利だと思う。データの分析や活用について、教えていただきたい。
- ・ 質問5に記載
- ・ 学習データに入力などがまだなので、そこまで行ってません。
- ・ 参加者へ、アンケートURLなど、メールが発信できる機能があると便利。
また時間内に回答できなかった質問をDPP上で回答し、参加者が共有できるとよい。
- ・ 集計機能は便利です。わかりやすいです。
色がいまいちな感じと、文字が見にくい感じがしますが変えられるのでしょうか。
カスタマイズできると面白いと思えました。
- ・ 仕組みはわかりましたが、データの数（人数）が結構多くないと臨場感がありません。
Q1と同様になりますが、学習者のダミーをたくさん作って置いて皆で利用できるような「練習用バリエーション」ができたらいいと思います。
- ・ マニュアルにある文言、操作の流れに慣れるまで時間かかると思った。
- ・ 良い
- ・ 説明をお聴きし、操作してみると、使いやすく、機能的にも十分だと思います。あとは、実際に使ってみて、加えてほしい機能が出てくるかどうかですね。とにかく、大学の授業に使いたいと思います。そのためには、授業スライドを全面的に見直さなくては。。。
- ・ 事前準備さえしていれば、プレゼン中に設問結果を見たりするのはそれほどむずかしくないようだった 遠隔含む大人数相手の講演にはよい
何かそこでアンケートを取ってものごと決めてしまうこともできるのはよいかな
すいませんこの程度の感想で
- ・ 集計結果がすぐわかるのがいいです。設問結果を見て、講義の内容を変えていけるなど、幅が広がると思います。

質問4 今後も継続して教育のデジタル化研究会を開催いたしますが、引き続きご参加いただけますか。

No	解答	人数	%
1	ぜひ参加したい	6	50%
2	参加したい	5	42%
3	どちらでもない	1	8%
4	あまり参加したくない	0	0%
5	参加したくない	0	0%
合計		12	



質問5 教育のデジタル化研究会の検討課題として、
・DPPの教育効果の検証
・DPPで取得するデータの利活用方法
・DPPの改善点の洗い出し
・DPPをどのように普及させるか
などを考えておりますが、ご意見をお聞かせ下さい。

【自由記述】

・「少しの労苦」と「多大な内容整理」を心がけ、自分の講義・プレゼンを磨き上げたい。

・ありがとうございました。私は現在、企業向け人材育成の業務を委託されて研修の企画開発や教材作成、運用、インストラクションも実施しています。DPPは大いに可能性のあるしくみだと感じました。特に多対1のコミュニケーションがライブでできるのはいいですね。

それと、動画教材を利用したオンデマンド学習用としての活用もやってみたいですよ。いっぽう、eラーニングのシステムとしてはまだ改善の余地があると感じました。

・個人ごとの評価ができる。アンケート回答の個人識別。
・ユーザ管理、コンテンツ管理、コース管理を別々に行える。例 ユーザn ---- 1
コース 1 ----- n コンテンツ ・選択画面に選択肢を表示できるように など

・DPPを研修・講義だけでなく、会議の効率化などで活用できないか？ DPP研究会参加者同士で自由に交流できるSNS的なものがあると、気づいたこと、実践したことを共有しやすいと思う。

・アナライザは奥が深いと思います。使い方の先に、受講者、講師、プログラムそれぞれの角度から検証する必要があるような気がします。まずは、使いこなせることから始めないといけないと思いました。

・検討方向は悪くないと思うのですが、将来のイメージが湧きにくいと感じました。例えば、少子高齢化時代の還暦前後の人達の人生設計、というテーマで、いくつかの分野の研究者数人が講師になってセミナーを開催するとします。心身の健康維持の分野、退職金の運用の分野、デジタルリテラシーと情報格差の分野、リビングウィルの分野と想定して、1時間ずつ4講座、アイスブレーキングとか、ランチ、コーヒータイムでまあほぼ1日コースでしょうか。この時に、心身健康講師が、後続セミナーで予定される、ハイリスク投資の懸念とかデジタル漬けの懸念、尊厳死説明のトーンを容易に把握できているとしたら、少し話が変わりそうです。プレゼン支援機能が他の講師の内容を瞬時に知らせてくれると助かるかもしれません。また、デジタル漬け問題の講師が、心身健康講座でどのような話があったのかを知れば、自分の話をそこに接近させて深めるもよし、遠ざかって浅く広げるもよし、と思います。全講座終了後に、受講者が心身健康系にシフトするか、余りある時間をフルに活用してハイリスク系、ハイテク系にシフトするかなどを設問で分析できたとして、それを受講者のために使えるのか、講師の改善に使えるのか、などと取り留めなく考えています。また、1講師のプレゼン資料を、難易度に分けて何通りか準備し、受講者への質問を通じた理解度把握で、難易度を臨機に変えた資料を使うということも想像します。もちろん事前配布は目次くらいにしておかないとうまくいきませんが、一種のロールプレイングゲームかもしれません。途中で資料（の組み合わせ）を変えると、終了時の到達点も変わりますから、平均進行時間から逆算して、「この段階で、ここを再度学習するとゴールはここまでしか行けない」ことが示されれば、新たないい塩梅のゴールを設定しなおす、ということもできるかもしれません。散漫な話ですみませんが、どんなことに使えそうかというイメージをい

くつか持ちたいです。

- ・最初にとっかかりする際の普及（営業）トークが難しいと感じています。
- ・改善点洗い出しについては、残念ながらプレゼンする機会が無く、本当に利用者様が欲する機能は、開発サイドとそのサポーターには判らない部分が多く、申し訳ない限りです。普及については、メルマガ会員と同じでいきなり増やせるかは難しく、地道にkk2イベント等で使って宣伝していくしかない。
- ・利活用事例を蓄積していくと、利活用が広がると思います。研究会では、現在はDPPの改善に重きを置いているのですが、上記4つの課題の最後、「どのように普及させるか」この点も並行して議論できればいいですね。議論だけでなく、普及についても改善同様、実行に移していきたいですね。
- ・ DPPをどのように普及させるか ここが第一に関門・・・特に名案はありません

【自由記述】

- ・参加者が多すぎか？多くて10名くらいでワークショップ的にやったらどうでしょう！
- ・私は現在 eラーニングシステムとしてedenを使っています。参考まで https://eden.ac/e-learning/?gclid=EAIaIQobChMIIsKet1fK84gIVjXZgCh0HeAgMEAAYASAAEgLiGPD_BwE
- ・永岡先生のお話は、とても有意義な内容だったので、継続的にお話を伺っていきたい。
- ・永岡先生のお話は大変興味深く聞けました。特に、講師は、何を意識して設問するのか。知識定着、考え方や意見で内省を促す、状況把握をどのタイミングでどうするのかなど、わかっているけど時間が無いからできないことを改めて考えました。「少しの苦労」が受講者のためになるようDPPを目指したいです。
- ・講師は喋りながらRAを操作するので、ブラインドタッチのようにできないと、前方不注意で事故を起こしそうです。ブラインドタッチにできそうな操作性、練習方法も大事のように感じました。
- ・プログラムをテスト登録したが、そのプログラムを削除する操作はありますか。
- ・DPP普及とは、メルマガ会員を同時に増やせるのは利点であるが、欠点でもある。DP P単独で流行させるには、メルマガ会員登録ももっともっと容易である事が望ましい気がする。場合によって、集計の為の簡易登録も検討か、、、
- ・たいへんおもしろく、有益で、これから楽しみです。よろしく願い申し上げます。
- ・一番のネックは、kk2への事前登録だと、思います。学校や企業を相手にした場合、学生番号や社員番号を利用してデータの蓄積ができればいいと思います